

3 課題検討

(レスパイトケア事業について)

医療的ケア児の家族

24時間体制でのケアを行うことが求められ、精神的・肉体的な負担が大きく、疲労が蓄積される

家族の負担軽減のために・・・

レスパイトケアの利用により家族は休息を取ることができ、心身のリフレッシュが図れる

レスパイトケアとは

家族が一時的にケアや介護から離れ、休息をとることを目的とした支援サービス

短期入所

一定期間、児を施設で預かる



デイサービス

日中だけ児を施設で預かる

1

訪問型サービス

支援者が家庭に訪問し児のケアや介護を行う



市民が利用できるレスパイトケア(施設)

埼玉病院(入院)

利用可能日数 5日/回まで 25日/年まで

R5年度 医療的ケア児 利用実人数：5人

平均利用時間(年)：16日



心身障害児総合医療療育センター (重症心身障害児(者)短期入所事業)

利用可能日数 7日/回まで 回数制限なし

R5年度 利用実人数：障害児者3人(内医療的ケア児1人)

平均利用時間(年)：19日

※空きがないため、実質2~3日/回程度の利用

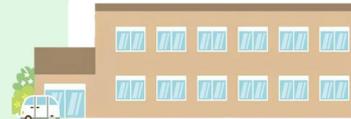
医療型障害児入所施設 カルガモの家(障害サービス)

利用可能日数 9日/回まで 回数制限なし

R5年度 利用実人数：医療的ケア児1人(他の障害児の利用はなし)

平均利用時間(年)：5日

※他の利用者との調整で実質4日/回程度の利用



一方で...

- 予約が取りづらく、希望の日に利用できない可能性がある
- 施設へ持参する物品が多く、**準備が大変**
- 遠方の施設の場合、**長距離移動**で児・家族ともに**負担**

人工呼吸器の使用等、**重症度が高い**医療的ケア児の家族には**負担が大きい**

その他のサービスの利用



主治医、訪問看護事業所に相談し、訪問看護をレスパイトケアとして利用し、訪問看護中に休息をとる

訪問看護と居宅訪問型児童発達支援を合わせてレスパイトケアの時間を長めにしている



一方で...

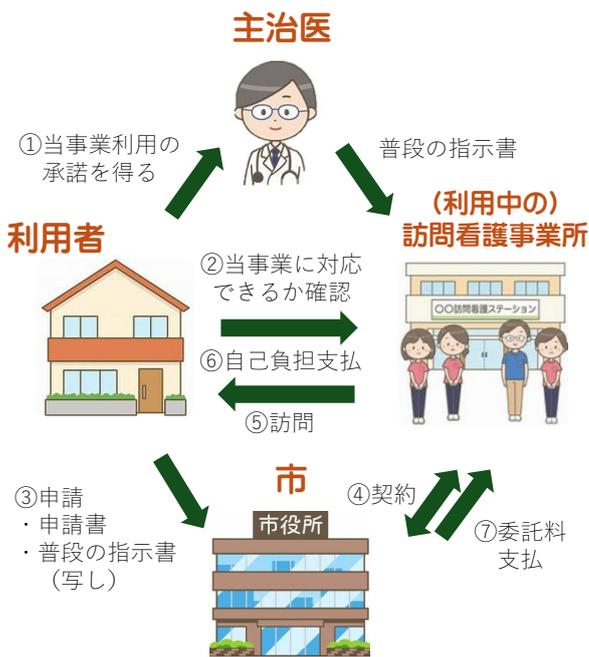
- 訪問看護は通常3日/週、1回90分まで
- 児童発達支援は計画の範囲内での利用に限られる

制限内の利用だと**利用時間・回数**が**限られる**



**新たなレスパイトケア事業
の検討**

A市のレスパイトケア事例



実施内容

- ・ 医療的ケア
- ・ 食事介助
- ・ 排泄介助
- ・ 体位交換 等

良い点	悪い点
<ul style="list-style-type: none"> ・ 物品の荷造り等が不要 ・ 移動の負担がない → 施設のレスパイトケアより気軽に利用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (利用中の) 訪問看護事業所が対応できない可能性がある ・ 訪問者に気を遣う ・ 児と訪問看護師を残して外出することが不安

A市

対象: 在宅で訪問看護の医療的ケアを受けている障害児 (条件あり ※スライド7表1)

場所: 自宅または外出先

時間: 1回につき30分単位で4時間まで

上限: 年72時間を超えない範囲

自己負担: あり (課税状況による ※スライド7表2)

市から事業所への支払い: 費用の一部を補助

実績

	利用実人数	延べ利用時間	延べ利用回数
R4年度	0件	0時間	0回
R5年度	1件	24時間	12回

参考 (A市令和5年度予算)

歳出 360 (千円)

歳入 児童虐待防止対策等総合支援事業費医療的ケア児等総合支援事業 (国庫補助金) 1 / 2

和光市で予算検討 ※5人 (市内の気管切開をしている医療的ケア児) が2時間/月 利用を想定
 $13,500円 (2時間の単価) \times 12か月 \times 5人 = 810,000円$

表1 対象となる医療的ケアの条件

1	人工呼吸器管理※毎日行う機械的気道加圧を要するカフマシン・NIPPV・CPAPなどは人工呼吸器に含む。
2	気管内挿管又は気管切開
3	鼻咽頭エアウェイ
4	酸素吸入
5	6回／日以上 of 頻回の吸引
6	ネブライザー（6回／日以上又は継続使用）
7	中心静脈栄養(IVH)
8	経管栄養(経鼻又は胃ろうを含む。)
9	腸ろう又は腸管栄養
10	継続する透析(腹膜灌流を含む。)
11	定期導尿(3回／日以上)※人工膀胱を含む。
12	人工肛門

表2 自己負担額

1回あたりの利用時間	市民税課税世帯
30分	375円
1時間	750円
1時間30分	1,125円
2時間	1,500円
2時間30分	1,875円
3時間	2,250円
3時間30分	2,625円
4時間	3,000円

※生活保護、市民税非課税世帯は自己負担なし